

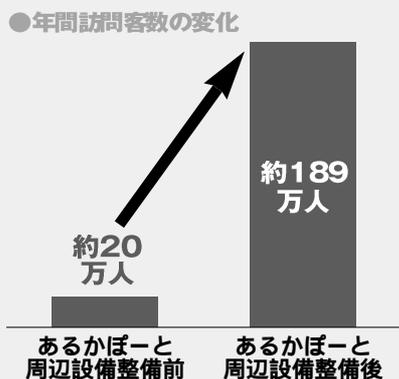
「あるかぼーと」及び周辺唐戸地区の整備により 海峡全域の活性化が促進

しものせき
file22 下関港

対象施設 あるかぼーと地区 岸壁(−12m)、緑地(ボードウォーク)、小型さん橋、防波堤等
供用 平成13年

「海峡まるごとテーマパーク」をコンセプトに、老朽化した倉庫等の港湾施設で遮られていた関門海峡沿いに、旅客船岸壁や小型さん橋・緑地等の港湾施設や海響館等の集客施設を整備。

海峡のもつ魅力を活かしたウォーターフロント空間へ生まれ変わり、多くの市民や観光客の人々が憩い楽しめるにぎわいのある場所になった。



●山口新聞 (平成16年1月14日)
海響館300万人突破へ
下関市立水族館海響館は13日、開館からの入場者数が近く300万人を突破するとの見込みを発表した。オープンから2年10ヶ月での達成は、当初の見込みを1年5ヵ月上回るペースという。

●毎日新聞 (平成14年5月15日)
唐戸地区688%増 海響館と唐戸市場の開業効果大
下関市は、01年の観光客数を334万9520人と推計し、14日発表した。海響館や唐戸市場の開業効果で、前年に比べて47万人7144人で16.61%増加、宿泊者数は55万2807人増加で10.06%増加した。唐戸地区は47万7144人増加で688.44%となった。



人々が散策するボードウォーク



海響館を望む全景